

文化・芸術

「東京オリンピック 公式ポスター第1号」

1961年

亀倉雄策 (1915~97年)

亀倉の言葉によれば、「すがすがしい美しさ」「豪華で強い力」を放ちつつける本作。1964年に開催された東京オリンピックの公式ポスター第1号であり、亀倉雄策の代表作のひとつです。

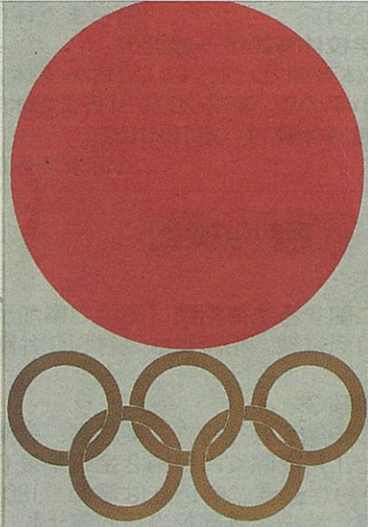
このポスターの赤と金との配合は苦心の末でもなく、ごくあっさりと、当たり前に決めたものであることを、亀倉はのちに述べています。ただこの「赤」をめぐる亀倉は、日本人の国旗意識を分析しつつ、自身がとらえる「日本の赤」について詳細に記しました。

それは、金赤に透明感を与えたような赤「洗い朱」を濃くし、金赤を上質な格調ある色調に仕上げたところにある、といえます。綿ではなくモスリン地に染色されたどっしりとした赤のイメージであり、「日の丸」に端を発しながらも、この赤い丸は太陽にみたてた、とも。

敗戦後の日本の復活のなかに、人々に新たな感覚を提示する衝撃的なポスターとなりました。
(小此木)

《名画の扉》

大川美術館特集展示から



TOKYO 1964